

芳沢左俣 1994年6月27日

し

天気曇時々晴。稜線から下降して芳沢左俣の源頭に降り立つ。沢の中はすごい湿気で、ガスが漂う。小沢を合わせながら下降してゆくと、小さいが滝がいくつか出てくる。12時を過ぎたあたりで昼食にしてしばらく休憩。

滝が途切れると、長い河原歩きが続く。途中で少しだが残雪がみられた。さして変化もないままに砂防ダムに到着。左岸に山菜採りの踏跡があり、簡単に降りることができた。踏跡をたどってゆくと西吾妻スカイバレーに出て、下降に終わりを告げる。滝がかかる右俣とは違って、何の変化もない。弁当のおかずにはフキを少々いただいたのが収穫であった。

[タイム] 稜線(11:50)→沢(12:10)→砂防ダム(13:30)→西吾妻スカイバレー(13:35)

## 駒止高原山地の沢

岩重沢左俣右沢(カツラ沢) 1994年7月9日

し

号

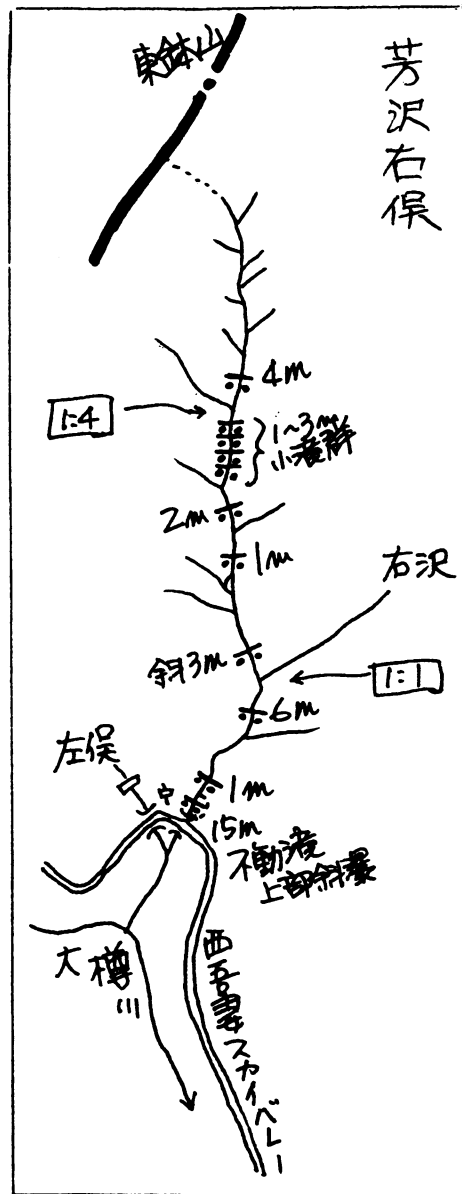
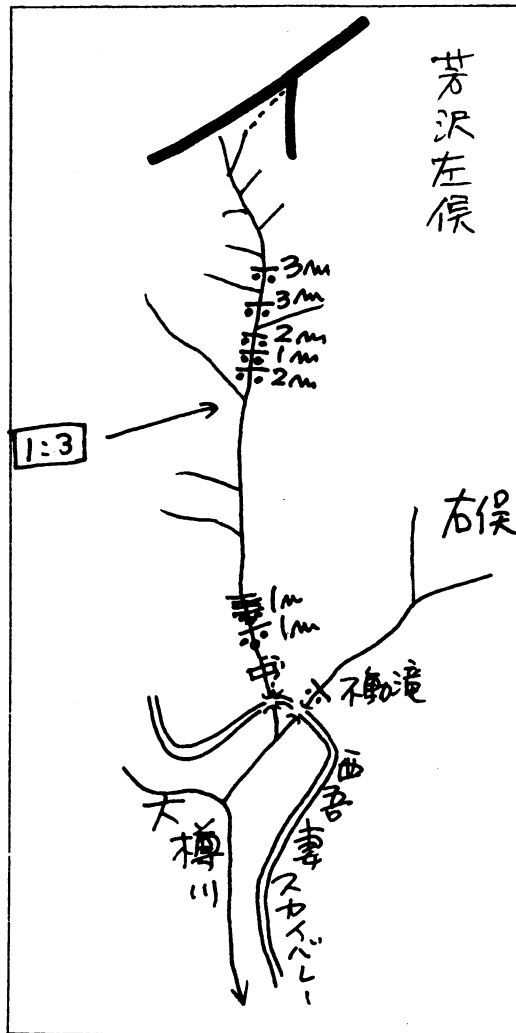
宮川支流大滝川流域の遡行調査をしようと、前日に福島を立つ。会津若松から国道401号線に入り、会津高田町を過ぎてだいぶ進むと、林道大滝線を左に分ける。冬期間閉鎖のゲートが目印となる。新宮川ダムの付替道路をしばらく進むと、林道は砂利道に変わり、大滝川にそって登ってゆく。大滝の手前があるゲートの所に車を止めて、テントを張った。この先林道は工事中で、車の乗り入れはできない。

うどんとおにぎりで腹ごしらえをして出発する。まず大滝川にそって、林道を岩重沢の出合まで歩く。岩重沢には作業道がついているが、今は使われていないのだろう、大滝川にかかる橋は落ち、踏跡もだいぶ古いようだ。

で、簡単に登ることができる。

やがて二俣。ここが右沢との分岐で、私達は左沢に入る。この先沢は短いこともあって、水量はだいぶ少なくなってしまった。それでも適当に滝が出てきて、面白い。1~3mの小滝群を越え、4mの滝を越えると、源頭の様相をみせる。

右に左にと小沢を分けて水量を減らしてゆくと、やがて水も溜れヤブこぎになる。5分ちょっとのヤブこぎで尾根に出る。尾



根を東に向かってヤブこぎして、芳沢左俣の源頭に移動する。

[タイム] 芳沢出合(9:40)→右沢出合(10:10)→沢終了(11:40)→稜線(11:45)